

# 消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404

## 暖房器具による火災を防ぐ

寒い季節が近づき、暖房器具を使用し始めた人もいるかと思います。それに伴って増えてくるのが、暖房器具が原因となる火災です。暖房器具からの火災を防ぐためには、これらの火災の実態を知ること、取扱説明書などをよく読み、器具の正しい取扱いや管理をすることが大切です。

### ●注油時の注意事項

しばらく使用していない暖房器具の中に入った燃料は、中の燃料が異常燃焼したり、暖房器具を損傷したりする変質灯油の可能性があります。そのまま燃料を注ぎ足さず、残っている燃料を汲み取り、正しく廃棄してください。

注油時は必ず火が消えていること、周囲に火気が無いことを確認しましょう。



### ●衣類の乾燥目的で使用しない

ストーブの近くやこたつの中で衣類を乾燥させることは、非常に危険です。衣類が暖房器具の上に落ちて、火災の原因となる場合があります。



### ●スプレー缶などを近くに置かない

石油ストーブやファンヒーターなどの近くでスプレー缶などを放置していると、缶の内圧が上昇し破裂したり、爆発したりすることがあります。絶対にやめてください。

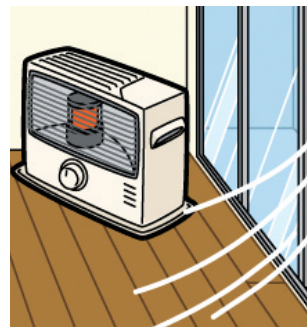


### ●寝るときや外出するときは必ず火を消す

就寝時電気ストーブを布団の近くで使用しており、寝返りをうった際に布団と電気ストーブが接触し、火災に至ったという事例もあります。

### ●一酸化炭素中毒の防止

一酸化炭素は石油ガスや炭の不完全燃焼により発生しますが、無色無臭のため、発生しても気づきにくいです。少量吸入しただけでも酸素欠乏状態となり、意識を失うこともあり、最悪の場合、死に至ります。室内において石油ストーブやガス器具を使用するときは、適時換気を行ってください。



秋季全国  
火災予防運動

消すまでは 心の警報 ONのまま

平成25年度全国統一標語

11月9日(土)から11月15日(金)までの7日間、全国一斉に秋季火災予防運動が実施されます。

これは、火災が発生しやすい時季を迎え、予防の意識を高めることで発生を防止し、高齢者を中心と

する死者の発生や財産の損失を防ぐことを目的としています。

皆さんもこれを機に、正しい知識を身につけましょう。